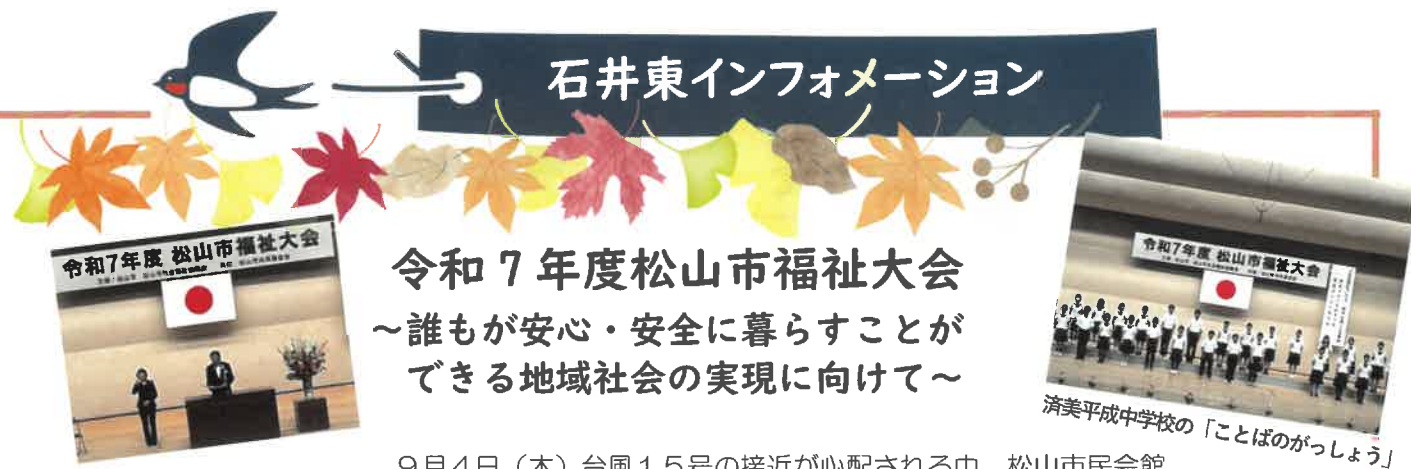




石井東インフォメーション

令和7年度松山市福祉大会 ～誰もが安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現に向けて～

9月4日（木）台風15号の接近が心配される中、松山市民会館

大ホールで開催されました。多年にわたり、地域福祉活動やボランティア活動等に功績のあった方々を表彰し謝意を表すとともに誰もが安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現に向け関係者の相互理解と連携を深めるために開催されました。式典後は、済美平成中等教育学校、愛媛県立松山聾学校の生徒の皆さんの「ことばのがっしょう」群読の発表がありました。心に響く「がっしょう」でした。石井東地区からもたくさんの方が表彰されました。



- 民生・児童委員功労者
岩城一範、戸田佳乃、中野豊充、野口輝美、久野幸美、藤田敬美、前田和子、宮内恵子、欠席（三好知枝、目崎泰久）
- 地域福祉活動功労者
豊島久子、野間恵子
- ボランティア活動功労者
丹下英子、中谷イサ子



今日は
どちらへ
お出かけ
ですか？

もっと気軽ににお出かけを！定額制相乗り送迎サービス チョイソコいいい2年になります！！

「チョイソコいいい」は、10月でまる2年の運行となります。

「もっと気軽ににお出かけを」をコンセプトに、多くの協賛企業の協力を得て、買い物、病院、健康づくり、習い事にと石井地区にお住まいの方のお出かけを応援しています。「自分で買い物するのは楽しいね」「病院通いに助かってます」「みんなとおしゃべりするのが楽しみ」「運転手さんが親切」など、いきいきとした利用者さんの声が届いています。

チョイソコは久枝、小野久米、石井に続き、5月には余土も運行を開始しました。チョイソコの輪は、どんどん広がっています。



「チョイソコいいい」の停留所を利用して開催している「毛糸の会」。手芸をしながら、あれこれと話す楽しい時間です！

「チョイソコいいい」は、「NPO 法人石井わくわく物語」によって運営されています。「NPO 法人石井わくわく物語」は、地域の人と人をつなぎ、笑顔でわくわくしながら心身ともに健康で「住み続けられる町・住み続けたい石井地区」を自分たちの手で作ることを目指して活動しています。興味のある方はお問い合わせください。



今年も10月1日から赤い羽根共同募金がスタートしました。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉の活動に役立てられています。ご協力お願いいたします。



石井東地区社協だより



安心を笑顔で支える人つなぎ夢つむぎ

社協ってなあに？

社会福祉協議会（通称 社協）は全国、都道府県、市区町村に組織され松山市では40の地区社協がそれぞれの地域で地域住民、社会福祉関係者等の参加・協力を得て活動を行っています。

第72号 令和7年10月1日

発行 ●石井東地区社会福祉協議会
会長 丸山 義一
松山市役所石井支所内

石井東地区人口（令和7年9月1日）

●人口	29,118人
（男 13,632人 女 15,486人）	
●内65歳以上の高齢者	7,809人
（男 3,242人 女 4,567人）	
●高齢者率	26.8%

石井地区まちづくり協議会 福祉講座

住み慣れた地域で安心して生ききるために ～笑顔とありがとうのあふれる故郷へ～

7月3日（木）石井支所と石井地区分館をオンラインでつなぎ、広域隣保活動相談員の近藤誠氏のお話を約220人の参加者と一緒に聞きました。

ご自身の介護の経験を踏まえてのお話はとても説得力がありました。

ゴールの见えない認知症の介護はストレスフル、だからこそ地域の中で顔の見えるコミュニティ（お互い様）が必要である。また、お話の中で「生ききる」という大切な言葉を近藤氏からいただいた。「生ききる」とは使い切るということ、私たちが自分らしく生きるとは、どういうことかを問いかれたように思えた。



お互い様の関係を増やしていま
しょうと話す講師の近藤さん



第4回石井地区サマーフェスティバル開催

住民が気軽に集い、ふれあう機会として

例年のお盆開催から1週ずらし8月23日（土）、石井地区の住民が気軽に集い、ふれあう機会として、また各種団体が参加することで石井地区全体の活性化につながることを願い開催されました。

前夜のスコールのような雨に開催が心配されましたが、開催時間は天候に恵まれ大盛況でした。石井東民協・社協は子どもたちが楽しめるゲームコーナーを担当、ワイワイ歓声を上げながら楽しみました。

会場では子どもたちの願いを込めたバルーンリリース、イルミネーションや竹灯籠の素敵な明かりと夏休み夜を楽しみました。最後は70近くある豪華景品のくじ引きです。「当たった！」「残念～！」「当ててえ～！」の声があちこちから聞こえ、21時30分頃閉幕しました。



子どもたちの笑顔がうれしい
スーパーボールたくさん取れたよ！



幻想的な光を放つ
竹灯籠
炎天下の中で
つくった大変さも
手伝って点灯時の
感激は一際でした！



ボールを転がして止まった場所の
カードの点数を競うゲーム。子ど
もから大人まで楽しみました！

Summer
Festival

こんなことしているよ！ 石井東地区のお宝・地域の自慢

北井門

神社と公園が地域を繋ぐ！ なくてはならない憩いの場



町内の歴史を語る上で欠かすことができないのが白山神社です。お祭りや町内行事で人が行き交う場所となっています。隣には、ボールが使える白山の杜公園があり、子供から高齢の方まで使用され、休日は特に親子連れで身近にボールを使って遊べる公園として親しまれる自慢の公園です。

子供達の遊び場が少なくなっている中、歴史を感じ、人と人とを繋いでくれるこの場所で、地域の憩いの場になり、支えられています。美しくきれいな神社、公園にしていくために、清掃活動していただいている方々に深く感謝しています。町内には、なくてはならない場所となっています。



子どもたちが集まる白山の杜公園

石井
団地

ゴキブリ団子作り始めて 20 数年！ 皆さんに喜んでもらっています！



私たちが住む石井団地は204軒あり、全軒に配ることにしています。年1回のことですが、多くの方にお手伝いをお願いして一個ずつ団子を丸めて作っていきます。作っている間は、皆が和気あいあいと世間話に花が咲き、楽しい時間です。団子を丸め終わった後、1週間ほど団子を干し、それから袋に詰めて皆さんに配ります。

住民の皆さんからは、手作りのゴキブリ団子はよく効くと好評、今まで作り続けてきて良かったと思う瞬間でもあり、これからも作り続けます。



楽しみながらホウ酸団子づくり



子どもたちと交流で楽しい天山に うどんづくりをしました!!

天山

ふれあいサロンのメンバーがサポートしながら、子どもたちと一緒にうどん作りをしました。出来上がったうどんをみんなで一緒に食べ、その後のゲームに子どもも大人も一喜一憂しながら盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。

子どもの人数が減り続ける昨今ですが、その中でも町の人たちと楽しく交流をし、顔見知りになることで、何かあった時は助け合うことができる町になるのではと思っています。二学期の始業式の日集団登校の見守り中、「あれ、一人子どもが増えているのでは？転校生かな」嬉しい朝でした。



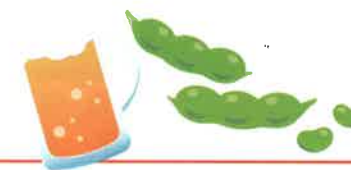
美味しいうどんをつくるぞ!!



一緒にうどん 作ってみる??

居相

ふれあい「枝豆」交流会 昔ばなしに花を咲かせて



居相町では、市社協や民生児童委員のご協力により、ふれあい・脳トレサロン等の活動が活発に行われていますが、女性の方が多く参加しています。男性陣の参加は皆無で、寂しいことから「町内の男子を元気にしよう」との趣旨で、いあいふれあい農園で収穫した「枝豆」を活用して「居相ふれあい“枝豆”交流会」を開催しました。

この会には、ふれあい農園会員はじめ、土地改良区の理事や町内会の役員・宮総代に併せ、「水路清掃協力者」を加えるなど、町内の長老といわれる方々が含まれております。やはり、話は「昔はのう・・・」ということから始まり、「昔はよかったのう・・・」で終わる話が多いですが、やはり参加者としては、地元である「椿神社」に関することが思い浮かぶようで「椿会館の建設の経緯」など、40数年前の事柄、若かりし銀行支店長としての思い出話等もあり、また「水路清掃も歳じゃからのう」と高齢が気になる話が出ましたが、やはり最後は「5年後の神輿渡御はせないかん」と元気話が出て、お開きになりました。



いあいふれあい農園には近くの園児も一緒に



椿神社の神輿渡御は頑張らんといかん!

土居

地域猫プロジェクト 地域の力で殺処分ゼロをめざす!



地域猫活動を町内会に提案して3年目になります。地域猫活動とはのら猫の引き起こす様々な問題の解決策として、地域住民が協力して猫を管理し、繁殖を抑えることでのら猫の頭数を減らし、地域環境をよくする取り組みです。具体的には、T＝捕まえる、N＝不妊手術をしてさくら耳にする、R＝元の場所にもどす、という取り組みで飼い主のいない猫を地域で見守り増やさないようにします。そして保護猫（飼い主を見つける）活動と同様に、イヌネコの殺処分ゼロを願っています。

1年目は37頭のTNRを行い、町内夏祭りでは町内の方々にチャリティー募金の協力をお願いしたり、見える化のためのステッカーを玄関や郵便受けに貼ってもらいました。2年目は6頭のTNRと新たな市の団体登録申請を行いました。現在さくら耳の猫たちは町内にある数か所の餌場で穏やかに暮らしているはずです。



町内数カ所に設置されている指定の餌場。協力して管理しています。



土居夏祭りに出店「募金よろしく!!」



第55回松山市高齢者趣味の作品展 佐伯禮子さん和紙人形で銅賞!!

手芸の部

松山市の高齢者週間に開催される趣味の作品展。人形の衣装はそれぞれに異なる和紙を重ねて作られており、その繊細さは見事なものです。95歳というお年を聞くと驚くばかりですが、そのお年だからこそ出せる温かさを感じるお人形でした。佐伯さん、おめでとうございます。